

臨床研究に関する情報

当院では以下の臨床研究を実施しております。この研究は患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（令和3年厚生労働省・文部科学省・経済産業省 告知第1号）の規定により研究内容の情報公開をすることが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら以下のお問い合わせ先へご照会ください。

研究課題名； **集束超音波治療においてやり直し治療を必要とした症例の原因とその対応**

主任研究者名・所属 **仁村太郎 脳神経外科**

研究目的
本態性振戦に対する集束超音波治療（FUS）は年齢を問わず多くの施設で行われている。高齢本態性振戦患者は症状が若年患者に比べ症状が進行し重症度が高いことが知られている。このため高齢患者にもFUSが実施されているが、高齢患者の治療成績は若年患者に劣るとの報告もある。本研究では高齢患者と若年患者の治療成績を急性期及び慢性期に比較検討し、治療効果に差があるかどうかを検討した。

研究方法

対象となる患者さん

対象は2019年8月から2023年9月までに当院でFUSを行った症例とした。治療中止には至らなかったものの最初からやり直した症例の定義は様々な原因で治療が継続できないと判断し、最初から再度やり直した症例

利用するカルテ情報

患者年齢、性別、罹患期間、臨床症状（CRST）、FUSの治療情報を用いる。

研究実施期間 **2023/10-2024/1**

この研究について研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項を除いたうえでお知らせすることができます。研究に利用する患者さんの情報に関しては名前・住所など患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また研究結果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

上記の研究に診療情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

連絡先； 巨理郡山元町高瀬字合戦原100 電話番号:0223-37-1131

担当者（所属）； 仁村太郎（脳神経外科）